

PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel : 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-8224, Japan
Tel : +81-3-3666-1361

URL: <http://www.jpx.co.jp/>

2018年8月27日

各位

株式会社東京証券取引所

第7回企業価値向上表彰の表彰候補50社の公表について

当社では、資本コストをはじめとする投資者の視点を深く組み込んだ経営の実践を通じて、高い企業価値の向上を実現している上場会社を表彰する「企業価値向上表彰」を2012年から実施しております。この度、第7回企業価値向上表彰の表彰候補50社が決定しましたので、公表いたします。社名等については、別紙をご参照ください。

これらの50社は、過去5年間にわたり自己資本コストを上回るROEを安定的に計上している企業であり、かつ、経営目標や資本コストなどを確認する選考アンケートの結果及び資本コスト(WACC)を上回る企業価値の創出額等の算定結果が優れた企業として選定されました。

今後、詳細な選考アンケートの実施等を通じて各社の経営の実践状況を確認し、ファイナリスト(大賞候補会社)の選考を進めて参ります。

【本件に関するお問い合わせ先】

東京証券取引所 上場部 上場会社表彰選定委員会事務局
電話 050-3377-7012 (直通)

第7回企業価値向上表彰 表彰候補 50 社

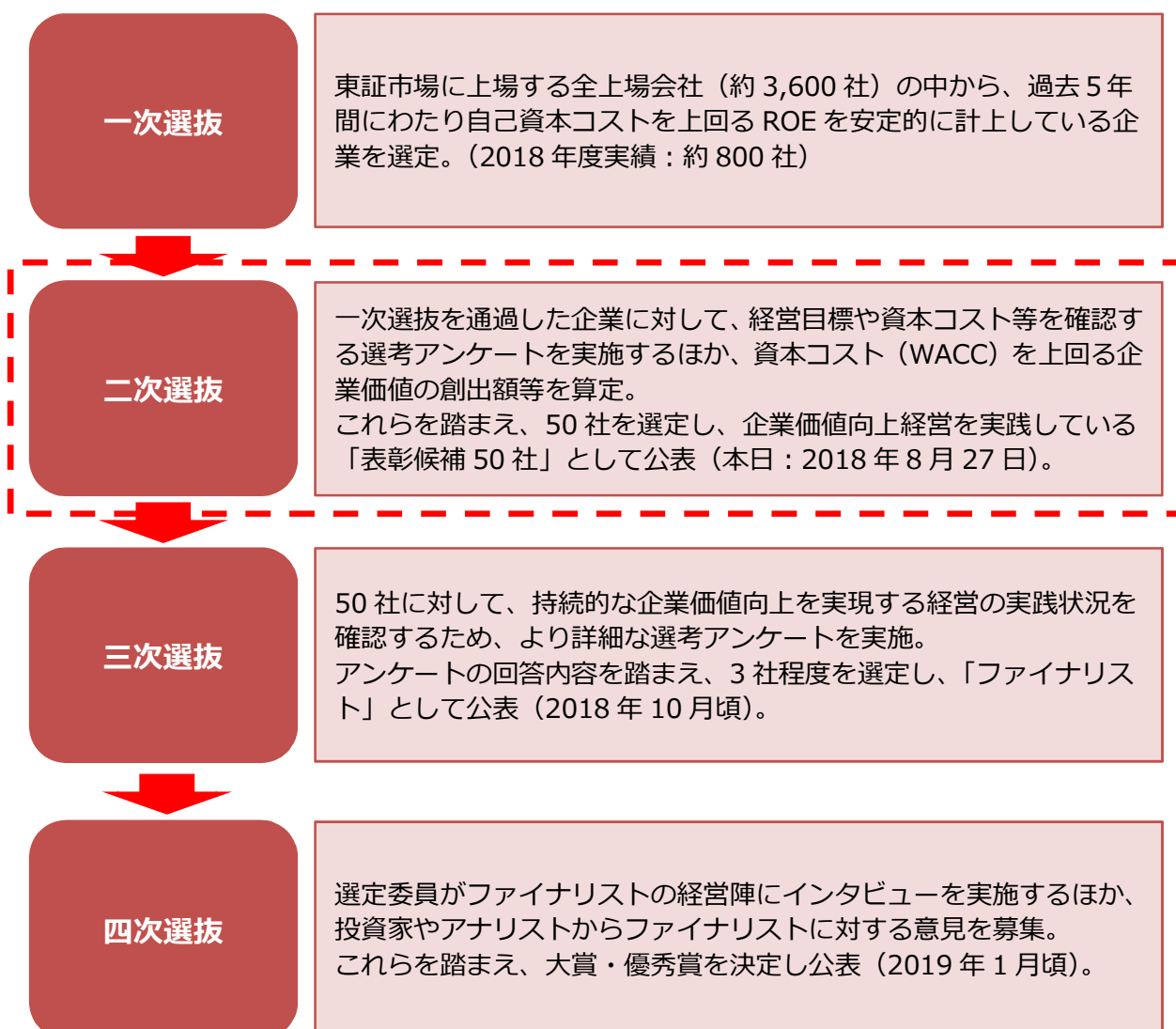
会社名	コード	業種	市場区分
(株) ジェイエシーリクルートメント	2124	サービス	市場第一部
(株) トラスト・テック	2154	サービス	市場第一部
明治ホールディングス (株)	2269	食料品	市場第一部
(株) エプコ	2311	サービス	JASDAQ
ディップ (株)	2379	サービス	市場第一部
(株) ベネフィット・ワン	2412	サービス	市場第二部
アサヒグループホールディングス (株)	2502	食料品	市場第一部
(株) ローソン	2651	小売	市場第一部
(株) セリア	2782	小売	JASDAQ
味の素 (株)	2802	食料品	市場第一部
ヒューリック (株)	3003	不動産	市場第一部
(株) 物語コーポレーション	3097	小売	市場第一部
(株) コーエーテックモホールディングス	3635	情報通信	市場第一部
(株) エイチーム	3662	情報通信	市場第一部
(株) アバント	3836	情報通信	市場第一部
コムチュア (株)	3844	情報通信	市場第一部
住友化学 (株)	4005	化学	市場第一部
日産化学 (株)	4021	化学	市場第一部
(株) 野村総合研究所	4307	情報通信	市場第一部
扶桑化学工業 (株)	4368	化学	市場第一部
エーザイ (株)	4523	医薬品	市場第一部
小野薬品工業 (株)	4528	医薬品	市場第一部
テルモ (株)	4543	精密	市場第一部
(株) 明光ネットワークジャパン	4668	サービス	市場第一部
(株) 東京個別指導学院	4745	サービス	市場第一部
東映アニメーション (株)	4816	情報通信	JASDAQ
(株) フルキャストホールディングス	4848	サービス	市場第一部
ライオン (株)	4912	化学	市場第一部
イー・ガーディアン (株)	6050	サービス	市場第一部
(株) ディスコ	6146	機械	市場第一部
(株) クボタ	6326	機械	市場第一部
ダイキン工業 (株)	6367	機械	市場第一部
ミネベアミツミ (株)	6479	電機	市場第一部
(株) 安川電機	6506	電機	市場第一部

会社名	コード	業種	市場区分
日本電産（株）	6594	電機	市場第一部
レーザーテック（株）	6920	電機	市場第一部
（株）村田製作所	6981	電機	市場第一部
スズキ（株）	7269	輸送	市場第一部
テイ・エス テック（株）	7313	輸送	市場第一部
HOYA（株）	7741	精密	市場第一部
朝日インテック（株）	7747	精密	市場第二部
伊藤忠商事（株）	8001	卸売	市場第一部
ユニ・チャーム（株）	8113	化学	市場第一部
（株）センチュリー 21・ジャパン	8898	不動産	JASDAQ
（株）東祥	8920	サービス	市場第一部
東日本旅客鉄道（株）	9020	陸運	市場第一部
日本電信電話（株）	9432	情報通信	市場第一部
（株）光通信	9435	情報通信	市場第一部
セコム（株）	9735	サービス	市場第一部
（株）NSD	9759	情報通信	市場第一部

(証券コード順)

企業価値向上表彰の選考プロセス

本表彰の選考は、上場会社表彰選定委員会において、以下のプロセスに基づき進められます。



<上場会社表彰選定委員会>

座長：	伊藤 邦雄	一橋大学 CFO 教育研究センター長 / 一橋大学大学院経営管理研究科 特任教授
委員：	澤上 篤人	さわかみ投信株式会社 取締役会長
委員：	スコット キャロン	いちごアセットマネジメント株式会社 代表取締役社長

表彰候補 50 社の株価パフォーマンスの推移

- 第7回表彰の選考対象期間(財務数値の参照期間)の最初の営業日(2013/4/1)を起点(100)として、表彰候補 50 社の日々の終値ベースでの株価の変化率を単純平均してグラフ化
 ※ 同じ時点を起点とする日経平均株価及び TOPIX の変化率の推移も併記

【株価変化率の推移】

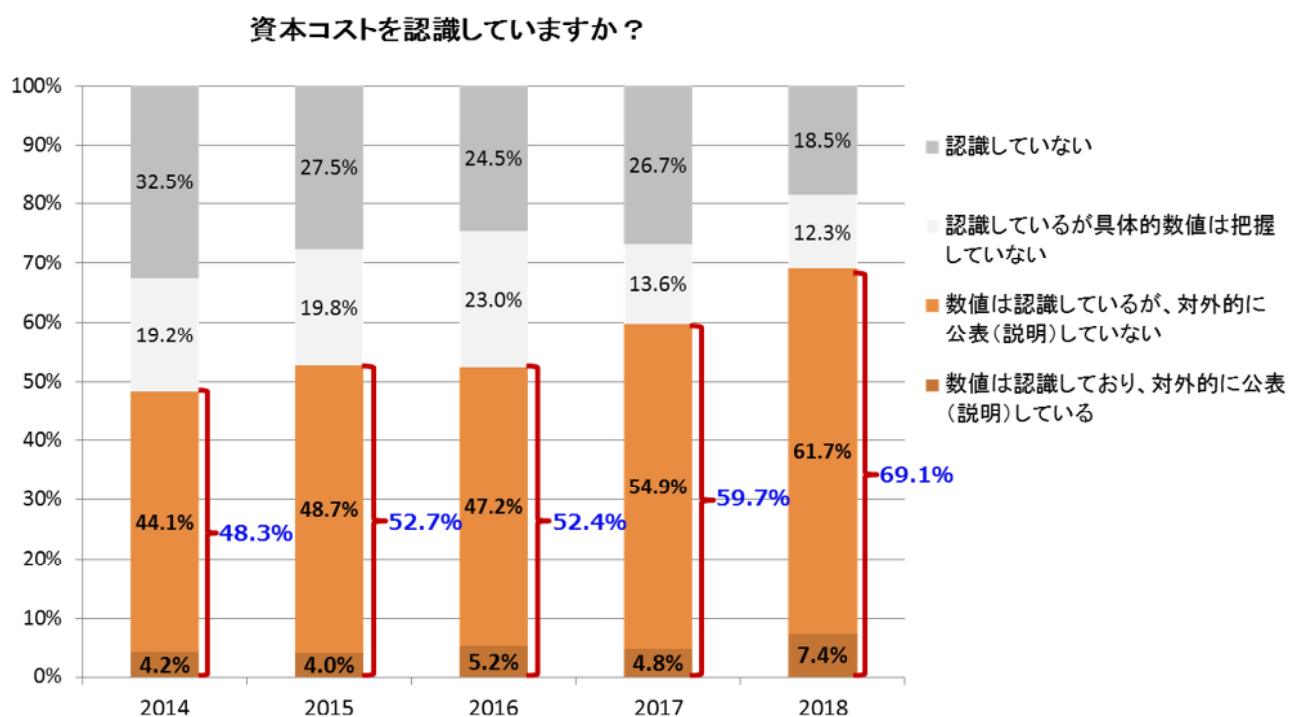


- 過去の表彰候補 50 社の株価パフォーマンスの推移は、JPX ウェブサイトの「企業価値向上表彰」のページでご覧いただけます。

(<http://www.jpx.co.jp/equities/listed-co/award/01.html>)

二次選抜アンケート結果 ～資本コストに対する認識の推移～

- 一次選抜を通過した企業に対して毎年実施しておりますアンケート結果によれば、資本コストを具体的に認識している上場会社が着実に増加しています。



PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel : 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-8224, Japan
Tel : +81-3-3666-1361

URL: <http://www.jpx.co.jp/>

2018年10月31日

各 位

株式会社東京証券取引所

第7回企業価値向上表彰に係るファイナリストの選定について

この度、「上場会社表彰選定委員会」（座長：一橋大学大学院・伊藤邦雄特任教授）の審議の結果、第7回企業価値向上表彰のファイナリスト（大賞候補会社）を以下のとおり選定しましたので、お知らせいたします。

今後、各社の経営陣に対する選定委員によるインタビューや投資家及びアナリストからの意見募集を行い、2019年1月を目途に大賞を決定する予定です。

【ファイナリストとして選定した上場会社】

会社名	コード	業種	市場区分
アサヒグループホールディングス株式会社	2502	食料品	市場第一部
ダイキン工業株式会社	6367	機械	市場第一部
日本電産株式会社	6594	電気機器	市場第一部
ユニ・チャーム株式会社	8113	化学	市場第一部

(証券コード順)

【参考】企業価値向上表彰について

企業価値向上表彰は、資本コストをはじめとする投資者の視点を強く意識した経営を実践し、企業価値の向上を実現している上場会社を表彰する取組みです。

本表彰の選定は、参考1及び参考2のプロセスに基づいて、有識者で構成される「上場会社表彰選定委員会」の審議により進められます。本表彰の概要や選定経過等については、特設ウェブサイト (<http://ps.nikkei.co.jp/tseaward2018/>) でもご紹介しています。

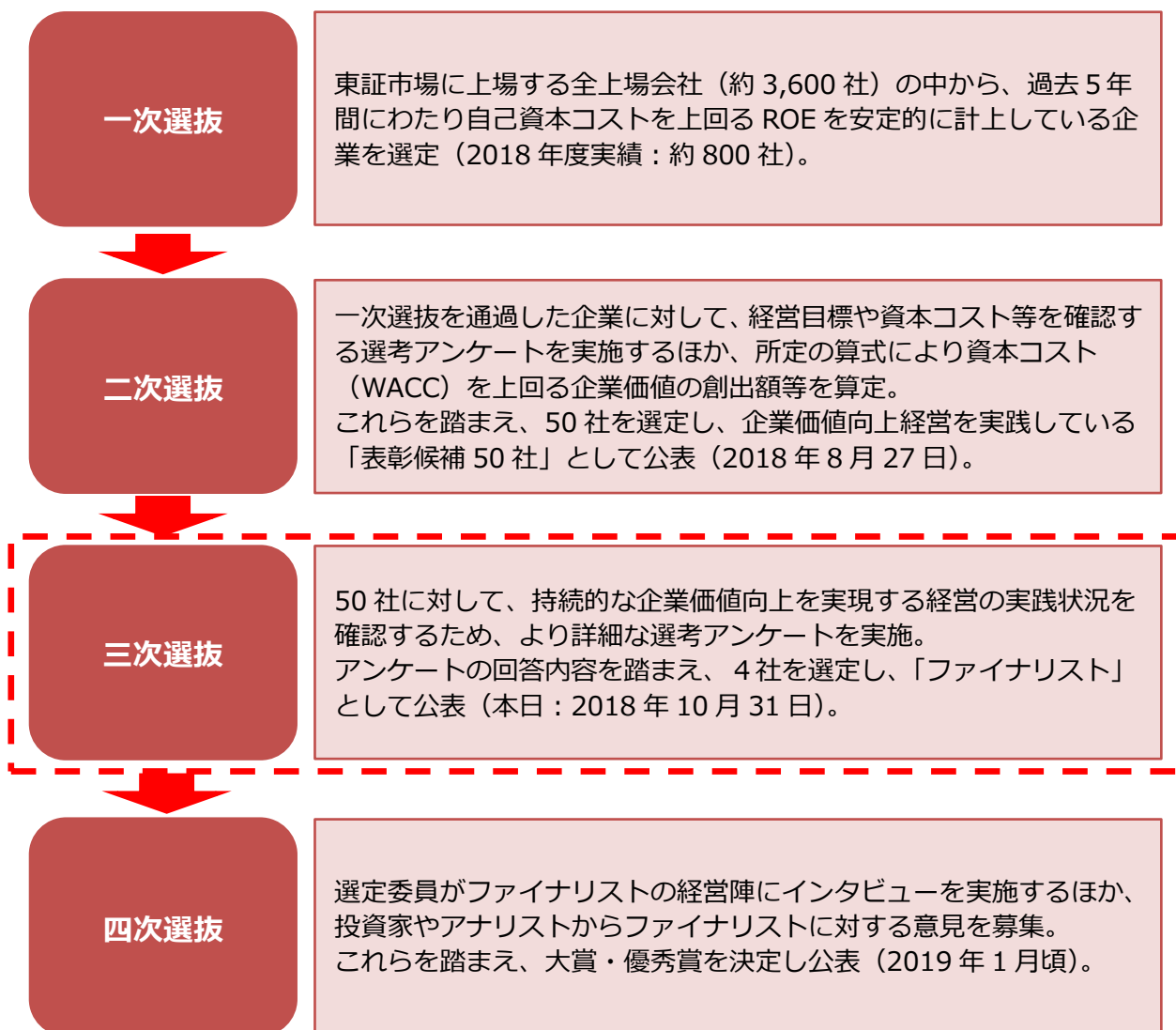
以 上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社東京証券取引所 上場部 上場会社表彰選定委員会事務局
電話 050-3377-7012 (直通)

企業価値向上表彰の選考プロセス

本表彰の選考は、上場会社表彰選定委員会において、以下のプロセスに基づき進められます。



<上場会社表彰選定委員会>

座長：	伊藤 邦雄	一橋大学 CFO 教育研究センター長 / 一橋大学大学院経営管理研究科 特任教授
委員：	澤上 篤人	さわかみ投信株式会社 取締役会長
委員：	スコット キャロン	いちごアセットマネジメント株式会社 代表取締役社長

第7回企業価値向上表彰 ファイナリストの選定の視点

2 0 1 8 年 1 0 月

上場会社表彰選定委員会事務局

上場会社表彰選定委員会がファイナリストを選定するに当たり勘案した視点は、以下のとおりです。

1. 資本コストの認識

- ・自社の資本コストの水準が適切に認識されているか

2. 経営目標・経営指標

- ・資本コストの水準を意識した経営目標が設定されているか
(資本コストを上回る目標数値を資本生産性指標 (ROE、ROIC 等) に設定しているか)
- ・適切な根拠に基づく自社の最適資本構成のイメージを持ち、社内で共有されているか
- ・投資者の視点を意識した利益処分方針・株主還元方針が策定されているか

3. 経営管理の仕組み

- ・資本コストを意識した新規投資の実行や既存事業の撤退に係る判断基準が策定され、活用されているか
- ・資本コストを意識した業績評価指標を持っているか

4. 評価報酬制度

- ・経営クラスの報酬が業績と連動しているか
- ・業績評価に用いる管理指標に資本コストの概念が組み込まれているか

5. 企業風土の醸成

- ・資本コストの概念やそれを踏まえた経営の枠組みについて研修等を通じ社内への浸透が図られているか
- ・資本コスト概念を踏まえた経営を社内に浸透させる仕組みが導入されているか

6. 投資者との建設的な対話

- ・投資者との対話で得た知見を経営にフィードバックする仕組みが構築されているか
- ・経営トップが投資家と直接対話を行っているか
- ・投資者との対話が実際に経営に活かされているか

上記の各項目を評価するに当たっては、各社の企業価値の創造による国民経済への貢献の状況等も総合的に勘案しています。

以 上

PRESS RELEASE

日本取引所グループ プレスリリース



株式会社日本取引所グループ
〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel : 03-3666-1361 (代表)

JAPAN EXCHANGE GROUP, INC.
2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-8224, Japan
Tel : +81-3-3666-1361

URL: <http://www.jpx.co.jp/>

2019年1月28日

各 位

株式会社東京証券取引所

第7回企業価値向上表彰の表彰会社の決定について

この度、「上場会社表彰選定委員会」（座長：一橋大学大学院・伊藤邦雄特任教授）による審議の結果、本年度の企業価値向上表彰の表彰会社を以下のとおり決定しましたので、お知らせします。

1. 企業価値向上表彰の表彰会社について

(1) 大賞

会社名	コード	業種	市場区分
ダイキン工業株式会社	6367	機械	市場第一部

(2) 優秀賞

(証券コード順に記載)

会社名	証券コード	業種名	市場区分
アサヒグループホールディングス株式会社	2502	食料品	市場第一部
日本電産株式会社	6594	電気機器	市場第一部
ユニ・チャーム株式会社	8113	化学	市場第一部

2. 表彰理由について

ダイキン工業株式会社、アサヒグループホールディングス株式会社、日本電産株式会社及びユニ・チャーム株式会社は、いずれも資本コストを上回る企業価値の創造を目指す「企業価値向上経営」を高いレベルで実践していると認められました。

その中でも、大賞を受賞したダイキン工業株式会社（以下「同社」といいます。）は、ROEやROAなどの資本コストを意識した経営目標を、長期にわたり設定・公表していることに加え、1999年頃から、DVA（ダイキン流経済的付加価値）などの経営指標を先駆的に導入し、その社内浸透にも力を注いできました。その結果、同社は持続的な企業価値の向上を実現しており、「企業価値向上経営」を特に高いレベルで実践していると認められました。

同社が特に優れていると評価されたポイントは以下のとおりです。

1. 企業価値向上の実現に向け、経営目標・指標等が、資本コストを意識したものであり、長期にわたり首尾一貫している。

- 1999年に改訂した中期経営計画において「率の経営」を掲げて以来、資本コストを念頭においた経営を推進。
- DVA（ダイキン流経済的付加価値）、ROE、ROA、ROICといった複数の資本生産性指標を設定・活用。
- なかでも、ROE及びROAは、経営目標として、継続的に対外公表。
- 現在のROE目標値は、自社の資本コストを大きく上回る水準（14%）を設定。ROE実績は2013年3月期には7.8%だったが、直近3事業年度（2016年3月期～2018年3月期）には13.4%、14.5%、15.7%と大きく躍進。

2. 企業価値向上の実現に向け、経営管理の仕組みが、資本コストを意識したものとなっている。

【新規投資採択】

- NPVやIRRを用いるなど、資本コストを踏まえた投資判断を実施。

【既存事業管理】

- 中期経営計画の着実な達成に向け、部門別の予実管理指標としてROICを活用。

3. 資本コストを意識した経営目標・指標及び経営管理の仕組みについて、その社内浸透に力を注いでいる。

- 2000年頃より社内報においてROEやDVAなどの経営指標や資本コスト、企業価値について解説しているほか、ROICツリーにより、各自の業務が経営指標の改善や企業価値向上にどう結びつくかを啓蒙するなど、社内浸透策を継続。
- マネージャー以上の役職者向けには、定期的に資本コスト概念の説明を行うとともに、近年は海外のマネージャー向けに日本語以外の資料も作成しグローバルでの浸透も推進。

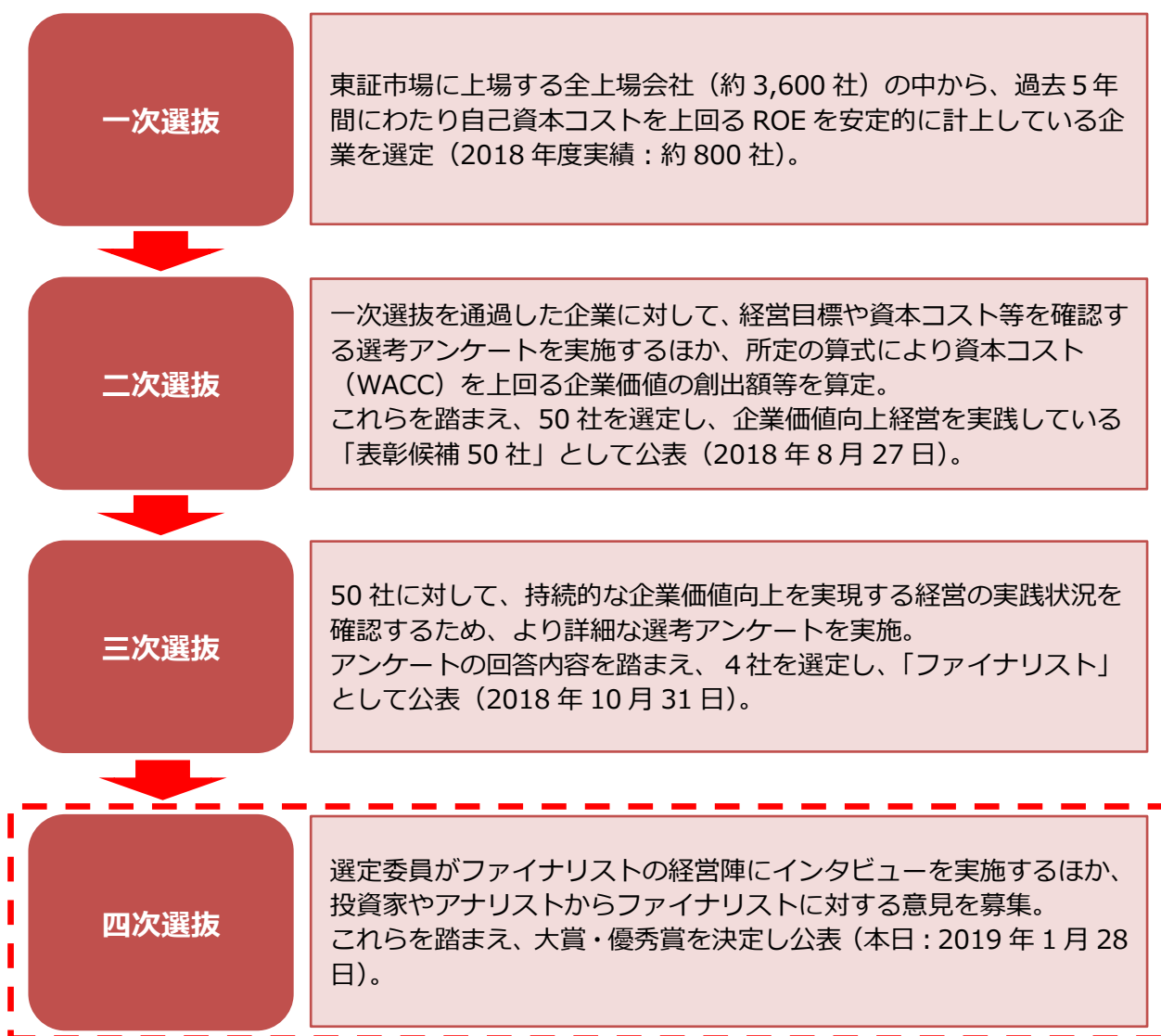
【本件に関するお問い合わせ先】

東京証券取引所 上場部 上場会社表彰選定委員会事務局

電話 050-3377-7012（直通）

企業価値向上表彰の選考プロセス

本表彰の選考は、上場会社表彰選定委員会において、以下のプロセスに基づき進められました。



<上場会社表彰選定委員会>

座長：	伊藤 邦雄	一橋大学 CFO 教育研究センター長 / 一橋大学大学院経営管理研究科 特任教授
委員：	澤上 篤人	さわかみ投信株式会社 取締役会長
委員：	スコット キャロン	いちごアセットマネジメント株式会社 代表取締役社長

【参考 2】第 7 回企業価値向上表彰の表彰候補 50 社について

当社では、第 4 回企業価値向上表彰より、選定プロセスの二次選抜で選抜された 50 社について、自社の資本コストを認識して経営に取り組むなど、投資者の視点を意識した企業価値向上経営を実践している「表彰候補 50 社」として、その社名を公表しております。

本年度の表彰候補 50 社については、既に 2018 年 8 月 27 日付けのプレスリリースでお知らせしておりますが、改めまして、以下のとおりお知らせします。

会社名	コード	業種	市場区分
(株) ジェイエイシーリクルートメント	2124	サービス	市場第一部
(株) トラスト・テック	2154	サービス	市場第一部
明治ホールディングス (株)	2269	食料品	市場第一部
(株) エプコ	2311	サービス	JASDAQ
ディップ (株)	2379	サービス	市場第一部
(株) ベネフィット・ワン	2412	サービス	市場第二部
アサヒグループホールディングス (株)	2502	食料品	市場第一部
(株) ローソン	2651	小売	市場第一部
(株) セリア	2782	小売	JASDAQ
味の素 (株)	2802	食料品	市場第一部
ヒューリック (株)	3003	不動産	市場第一部
(株) 物語コーポレーション	3097	小売	市場第一部
(株) コーエーテックモホールディングス	3635	情報通信	市場第一部
(株) エイチーム	3662	情報通信	市場第一部
(株) アバント	3836	情報通信	市場第一部
コムチュア (株)	3844	情報通信	市場第一部
住友化学 (株)	4005	化学	市場第一部
日産化学 (株)	4021	化学	市場第一部
(株) 野村総合研究所	4307	情報通信	市場第一部
扶桑化学工業 (株)	4368	化学	市場第一部
エーザイ (株)	4523	医薬品	市場第一部
小野薬品工業 (株)	4528	医薬品	市場第一部
テルモ (株)	4543	精密	市場第一部
(株) 明光ネットワークジャパン	4668	サービス	市場第一部
(株) 東京個別指導学院	4745	サービス	市場第一部
東映アニメーション (株)	4816	情報通信	JASDAQ
(株) フルキャストホールディングス	4848	サービス	市場第一部
ライオン (株)	4912	化学	市場第一部

会社名	コード	業種	市場区分
イー・ガーディアン (株)	6050	サービス	市場第一部
(株) ディスコ	6146	機械	市場第一部
(株) クボタ	6326	機械	市場第一部
ダイキン工業 (株)	6367	機械	市場第一部
ミネベアミツミ (株)	6479	電機	市場第一部
(株) 安川電機	6506	電機	市場第一部
日本電産 (株)	6594	電機	市場第一部
レーザーテック (株)	6920	電機	市場第一部
(株) 村田製作所	6981	電機	市場第一部
スズキ (株)	7269	輸送	市場第一部
テイ・エス テック (株)	7313	輸送	市場第一部
HOYA (株)	7741	精密	市場第一部
朝日インテック (株)	7747	精密	市場第二部
伊藤忠商事 (株)	8001	卸売	市場第一部
ユニ・チャーム (株)	8113	化学	市場第一部
(株) センチュリー 21・ジャパン	8898	不動産	JASDAQ
(株) 東祥	8920	サービス	市場第一部
東日本旅客鉄道 (株)	9020	陸運	市場第一部
日本電信電話 (株)	9432	情報通信	市場第一部
(株) 光通信	9435	情報通信	市場第一部
セコム (株)	9735	サービス	市場第一部
(株) NSD	9759	情報通信	市場第一部

(証券コード順に記載、市場区分は 2018 年 8 月 27 日時点)

【参考3】表彰候補50社の株価パフォーマンスの推移

第7回表彰の選考対象期間(財務数値の参照期間)の最初の営業日(2013/4/1)を起点(100)として、表彰候補50社の日々の終値ベースの株価の変化率を単純平均してグラフ化
※同じ時点を起点とする日経平均株価及びTOPIXの変化率の推移も併記

【株価変化率の推移】



- 過去の表彰候補50社の株価パフォーマンスの推移は、JPX ウェブサイトの「企業価値向上表彰」のページでご覧いただけます。

(<http://www.jpx.co.jp/equities/listed-co/award/01.html>)